

**令和5年度**

**山形大学大学院  
科学技術イノベーション創出に向けた  
大学フェローシップ創設事業  
「ソフトマターイノベーション博士人材育成プログラム」  
プログラム生募集要項**

**令和4年12月**

**山形大学  
大学院基盤教育機構**

# 目 次

1.	概要・プログラムの特色について .....	1
2.	募集人員 .....	1
3.	出願資格 .....	1
4.	出願期間 .....	1
5.	出願手続 .....	2
6.	選考方法 .....	2
7.	試験場 .....	3
8.	受験者心得 .....	3
9.	合格者の発表 .....	3
10.	入プログラム手続 .....	3
11.	その他 .....	3

## 令和5年度追加選考試験日程表

月 日	
出 願 期 間	令和5年2月6日(月)～令和5年2月17日(金)(必着)
第一次選考(書類審査) 結 果 通 知	令和5年3月1日(水)
第二次選考(面接) 試 験 日	令和5年3月10日(金)
合 格 者 発 表	令和5年3月17日(金)11時(予定)

### ★お問い合わせ先

山形大学 大学院基盤教育機構事務室  
〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3-16 5号館4階  
電話 (0238) 26-3834

## 1. 概要・プログラムの特色について

### ソフトマターイノベーション博士人材育成プログラム

#### [概要]

本プログラムでは、ソフトマテリアルをはじめとする材料とその関連分野の卓越した研究を行い、モビリティ/ロボット/情報/医薬・医用工学等に革新をもたらす高度博士人材を育成するため、フェローシップを支給し、研究力の向上とキャリアパスの実現を支援する。なお、研究分野について、材料科学に関する基礎研究（化学・物理・生物・地球科学・数理科学・データサイエンス等）または応用研究（機械・情報・応用生物・応用物理・建築等）に関する研究に携わっている場合は応募可とする。

#### [プログラムの特色]

研究力の向上：イノベーション創出の基礎となるソフトマテリアルをはじめとする材料に関する卓越した「専門力」に加え、研究や事業を複合的かつ創造的に推進する「融合力」と世界中の研究者・技術者を巻き込んで研究・プロジェクトを推進する「共創力」を身につけるため、指導教員、若手教員、産学連携教授などからなるメンターグループのもと、プレゼンテーション・データサイエンス・デザイン思考等に関する教育プログラムを受ける。また、コンソーシアム企業・研究機関や海外連携大学とのインターンシップ等の社会実装に関する実践科目を必修とし、イノベーションをもたらすための力を身につける。

キャリアパスの支援：博士後期課程入学時にメンターグループのもと、キャリアパスプランを作成し、これに基づいて研究インターンシップ、教育プログラムなどに参加する。また、コンソーシアム企業/研究機関関係者等を招いた国際シンポジウムでの発表を義務づけ、研究成果のアピールとジョブマッチングの機会とする。

フェローシップの支給：支給額は上限を年額 250 万円とし、そのうち研究専念支援金は上限を年額 180 万円（月額 15 万円）、研究費は上限を年額 70 万円とする。なお、研究費財源については 70 万円のうち、その 3 分の 1（233,334 円）を指導教員が持つ研究費から支出する。

## 2. 募集人員

研究科名	募集人員
理工学研究科（工学系）	10名
理工学研究科（理学系）	
有機材料システム研究科	
医学系研究科 （医学専攻・先進的医科学専攻）	

## 3. 出願資格

令和5年4月1日現在において、募集対象となる研究科に在籍し、次の全てを満たす者としてします。

- (1) 理工学研究科<sup>\*1</sup>・有機材料システム研究科<sup>\*1</sup>・医学系研究科先進的医科学専攻の令和5年度博士後期課程入学者（社会人を除く）又は医学系研究科医学専攻の令和4年度入学者のうち2年次に在籍する者（社会人を除く）。
- (2) 4月1日現在、30歳未満であること。ただし、個別の事情（出産・育児等）に応じ、1年から2年程度、年齢要件を緩和することができる<sup>\*2</sup>。
- (3) 日本学術振興会の特別研究員、日本政府の国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生、又は本国からの奨学金等の支援を受ける留学生でないこと<sup>\*3</sup>。

※1 山形大学博士課程5年一貫教育プログラム「フレックス大学院」履修者を含む。

※2 事前に山形大学大学院基盤教育機構事務室に問い合わせること。

※3 その他の助成金の重複受給の制限については、山形大学大学院基盤教育機構事務室に問い合わせること。

## 4. 出願期間

令和5年2月6日（月）～令和5年2月17日（金）（必着）

受付時間は、土・日曜日及び国民の休日を除く9時から16時30分までとします。

なお、郵送の場合も出願期間の最終日までに必着とします。

## 5. 出願手続

出願者は次の a. ～f. の出願書類を一括し、所定の期日までに本学大学院基盤教育機構事務室に提出してください。なお、郵送する場合は書留郵便とし、封筒に「博士人材育成プログラム願書在中」と朱書してください。

出願書類提出先 山形大学 大学院基盤教育機構事務室  
〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目 3-16 5号館 4階

出願書類	出願書類作成上の注意
a. 選考試験願書※ (写真付) Application form	本要項添付の所定様式用の紙に必要事項を記入し和文願書1通を提出してください。同書類所定欄に出願前3ヶ月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きの写真(4cm x 3cm)を貼ってください。英語での出願を希望する場合は、本要項添付の所定様式の英文願書を用いても構いません。  If you choose to use the application form in English, you don't need to submit the application form in Japanese.
b. 研究・技術業績調書※ Research/Technology Achievements Record	本要項添付の所定様式用の紙に必要事項を記入し提出してください。  Submit with the format attached in this application guideline.
c. 修士学位論文要旨 Abstract of Master Thesis	2ページ以内。様式自由。修士の学位を持たない場合は、修士の学位に相当すると認められた業績の概要。  Within 2 pages. Any format. If you don't have your master's degree, please submit the abstract of your achievements regarded as equivalent to the master's degree.
d. 研究計画書 Research Plan in Doctoral Course	本要項添付の所定様式用の紙に必要事項を記入し提出してください(3ページ以内)。  Submit with the format attached in this application guideline within 3 pages.
e. 出願資格確認書※ Application Qualification Confirmation	本要項添付の所定様式用の紙に必要事項を記入し提出してください。  Submit with the format attached in this application guideline.
f. 入プログラム確認書※ Application Confirmation	本要項添付の所定様式用の紙に必要事項を記入し提出してください。  Submit with the format attached in this application guideline.

※所定様式の電子ファイルはホームページ：

(<https://ipge.yz.yamagata-u.ac.jp/blog/2022/12/22/fellowship2023/>) からダウンロードできます。

## 6. 選考方法

(1) 本プログラムを履修する学生(以下「履修学生」という。)の選考においては、博士後期課程(博士課程を含む。)を通じて、イノベーションを創出する能力が獲得できるかどうかを念頭に、研究・技術業績調書、修士学位論文要旨、研究計画書を元とした書類審査と、「専門力」「融合力」「共創力」の資質に関する口頭試問を含む対面審査を実施します。なお、山形大学博士課程5年一貫教育プログラム「フレックス大学院」のプログラム生※1は研究・技術業績調書の「その他」にフレックス大学院におけるこれまでの履修・活動状況を記載してください。

※1 山形大学博士課程5年一貫教育プログラム「フレックス大学院」のプログラム生のうち、推薦枠制度の推薦を受けている者は、出願書類 b. ～d. について別途所定の様式を用いて提出してください。詳しくは山形大学大学院基盤教育機構事務室に問い合わせること。

(2) 試験日時及び試験科目

試験科目、試験日程は以下の通りです。各自の面接開始時刻は、選考試験番号とともに番号証により別途通知します。

試験日	試験時間	試験科目
令和5年3月10日(金)	10:00～※	面接(口頭試問を含む)

※応募人数によっては試験時間が変更になる場合があります。

7. 試験場

山形大学米沢キャンパス(詳細は後日通知します。)

なお、対面による面接(口頭試問を含む)が難しい場合は、インターネットを用いたテレビ会議方式を用いることもあります。

8. 受験者心得

(1) 番号証について

- 1) 事前に番号証を郵送します。試験当日は本選考試験の番号証が必要になりますので、必ず持参し面接控室に入場する際に提示してください。
- 2) 試験会場では番号証を携行し、受験中は係員の指示に従ってください。
- 3) 試験当日、番号証を忘れた場合は、入室の際に係員に必ず申し出て、仮番号証発行手続きを行ってください。
- 4) 番号証を紛失した場合は、速やかに本学大学院基盤教育機構事務室に申し出てください。

(2) 受験者は、通知された面接開始時刻20分前までに面接控室に集合してください。

(3) 通知された面接時間開始時刻に遅れた場合は、原則、受験を認めません。

(4) 試験当日に災害等が発生した場合、試験開始時刻を繰り下げることがあります。

(5) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切っておかばん等にしまってください。試験時間中、これらをかばん等にしまわずに身につけていたり、手に持っていたりすると不正行為となることがあります。

9. 合格者の発表

第一次選考(書類審査)結果通知:令和5年3月1日(水)(予定)

第二次選考(面接)合格発表:令和5年3月17日(金)11時(予定)

合格者の発表は選考試験番号のみの発表とし、本学大学院基盤教育機構ホームページ(<http://ipgeadmin.yz.yamagata-u.ac.jp/>)に合格者の選考試験番号を掲載します。(発表直後はアクセスが集中し、つながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいて再度アクセスしてください。)なお、合格者の発表後、結果通知書を送付します。

10. 入プログラム手続

入プログラム手続に係る提出書類の詳細については、別途通知します。

11. その他

(1) 提出した選考試験に関する個人情報は、次の目的のために使用し、当該情報を第三者に開示及び提供することはありません。

- 1) 選考試験実施のため
- 2) 入学統計調査のため
- 3) 就学上必要な本学での業務のため
- 4) その他大学として必要な業務のため

(2) 提出書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、試験合格通知後であっても本プログラムへの参加許可を取り消すことがあります。

(3) 病気・負傷や障害等のために受験上及び就学上の措置を希望する者は、出願前にあらかじめ大学院基盤教育機構事務室に相談してください。

(4) 本選考後、日本学術振興会の特別研究員への採択等で合格者から辞退者が出た場合、不合

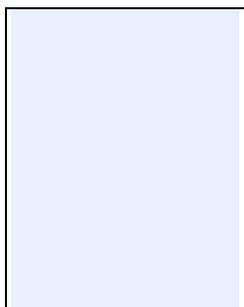
- 格者を追加合格とし、ご連絡させていただく場合があります。
- ( 5 ) 本プログラムは、文部科学省「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」と山形大学により実施されるものです。国の予算状況により支援内容に変更があり得ますので、ご了承ください。

令和5年度 山形大学大学院  
「ソフトマターイノベーション博士人材育成プログラム」  
選考試験願書

	※左枠内に顔写真を貼付けてください(4cm×3cm)		
	選考試験番号		
(この欄は記入しないでください)			
フリガナ 氏名(自署)		性別*	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
フリガナ			
住所 携帯電話番号 (電話番号) Email アドレス	〒  (自宅・研究室**)		
生年月日	西暦 年 月 日生	学生番号	
博士後期課程 研究科名*	<input type="checkbox"/> 理工学研究科 <input type="checkbox"/> 有機材料システム研究科 <input type="checkbox"/> 医学系研究科		
博士後期課程 専攻名	専攻	指導 教員名	
最終学歴 大学・大学院等	* <input type="checkbox"/> 国立		
	<input type="checkbox"/> 公立            * <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> 大学院	<input type="checkbox"/> 専攻科 <input type="checkbox"/> 学部 <input type="checkbox"/> 研究科	<input type="checkbox"/> 学科 <input type="checkbox"/> 専攻
西暦 年 月 日 <input type="checkbox"/> 卒業・ <input type="checkbox"/> 修了			
履歴***	区分	西暦年月日	事項
	学歴		
	職歴		
奨学金等受給 (申請)の有無	受給期間(予定)	奨学金等名称(受給・申請中)	

\*該当事項にチェック☑を一つ入れてください  
 \*\*どちらかに丸をつけてください  
 \*\*\*履歴欄には、大学入学時からのものを記入してください

**APPLICATION FORM (International Applicant)**  
**EXAMINATION FOR ADMISSION - ACADEMIC YEAR 2023**  
**Innovative Soft Matter Program in Doctoral Course, Yamagata University**



\*Digitally copy and paste or adhere your ID photo (30mm x 40mm, chest up, directly looking front)

選考試験番号
(For YU Admissions use only)

LAST/FAMILY name	First/Given name	Middle name	Check one <input type="checkbox"/> Male <input type="checkbox"/> Female
Permanent Home Address (Street, City, State/Province, Postal/Zip Code)			
Country	Telephone where we can reach you	Email	
Nationality	Date of Birth (Month Date, Year)	Student Number	
Name of graduate school			
<input type="checkbox"/> Graduate School of Science and Engineering <input type="checkbox"/> Graduate School of Organic Materials Science <input type="checkbox"/> Graduate School of Medical Science			
Name of Department		Supervisor	
Highest Completed Level of Education (most recent academic history)			City, Country
Major	Degree	Completion Month, Year	
Academic Background: Chronologically list degrees completed (or anticipated) beyond bachelor's or equivalent.			
(month/year)	Name of Institution	City, Country	
Work Experience: Chronologically list work experience after obtaining bachelor's degree or equivalent.			
Scholarships that you are receiving (including under application).			

I declare that the information provided in this document is based on facts and true.

Applicant Signature

Date (month date, year)

# 研 究 ・ 技 術 業 績 調 書

Research/Technology Achievements Record

選考試験番号 Exam Registration No.	(この欄は記入しないでください) Please do not fill in this field.	氏 名 Name	
これまで実施してきた研究及び技術に関する業績について、学会発表、学術論文投稿、受賞等を記入してください (1ページ以内)。 Please describe any achievements related to research and technology that you have conducted, such as conference presentations, academic article submissions, and awards (within 1 page).			
<p>[学会発表] (presentations)</p> <p>(1) <u>Taro Yamagata</u>, Jiro Yonezawa, △△△△△△△△△△△△△△△△ (タイトル title), ×××××× (会議名 conference name) 7/2007, Yonezawa, Japan, PP.456-457</p> <p>(2)</p> <p>(注) ① 全著者名 (本人氏名に下線を引く), タイトル, 会議名, 開催年月, 開催地, ページ (始頁-終頁) を記入してください。 Write all authors (underline your name), title, conference name, month and year held, place held, and pages (start-end pages).</p> <p>② 新しいものから古いものへ遡って年代順に記入してください。 Begin with the most recent one (i.e. reverse chronological order).</p> <p>③ 発表形式 (口頭発表, ポスター発表) を明記してください。 Please describe the presentation format (oral or poster presentation).</p> <p>[論 文] (articles)</p> <p>(1) <u>Taro Yamagata</u>, Jiro Yonezawa, △△△△△△△△△△△△△△△△ (論文名 title), ×××××× (誌名 journal), Vol.56, No.3, PP.234-238, (2007)</p> <p>(2) <u>山形太郎</u>, 米沢二郎, 東北三郎, △△△△△△△△△△△△△△△△ (論文名 title) ×××××× (誌名 journal), 第 30 巻, 第 2 号, PP.345-349, (2006)</p> <p>(注) ① 全著者名 (本人氏名に下線を引く), 論文名, 発表機関 (学術雑誌名, 巻, 号, ページ (始頁-終頁)), 発表年を記入してください。 Write all authors (underline your name), article title, publisher (journal name, volume, issue, page (start-end pages)), and publication year.</p> <p>② 新しいものから古いものへ遡って年代順に記入してください。 Begin with the most recent one (i.e. reverse chronological order).</p> <p>③ 印刷中の場合は (印刷中), 投稿中の場合は (投稿中), 準備中の場合は (投稿準備中) と記入してください。 Specify each publication by adding (in print) or (submitted).</p> <p>[受 賞] (awards)</p> <p>[その他] (others)</p> <p style="text-align: center;"><u>記載例, 及び (注) の部分は削除して使用してください。</u> <u>Delete examples and instructions when you use this form.</u></p>			

氏名 Name : ○○ ○○

## 研究計画書

### Research Plan in Doctoral Course

**1. 研究計画 Research Plan** ※適宜概念図を用いるなどして、専門分野外の人にもわかりやすく記入すること。Fill in the form in an easy-to-understand manner even for people outside the field of specialization, such as by using conceptual diagrams as appropriate.

**(1) 研究の位置づけ (1 ページ以内) Positioning of research (within 1 page)**

取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入すること。Describe the position of the research to be undertaken, including the background of the situation and issues in the field and the prehistory to the idea of this research plan.

氏名 Name : ○○ ○○

**(2) 研究目的・内容等 (2 ページ以内) Research purpose and content etc. (within 2 pages)**

- ① 研究目的、研究方法、研究内容について記入すること。Describe the research purpose, research method, and research contents.
- ② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入すること。Specify what kind of plan you are trying to clarify.
- ③ 研究の特色・独創的な点（先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）にも触れて記入すること。Describe the characteristics and original points of the research (comparison with previous research, expected impact when this research is completed, future prospects, etc.).

氏名 Name : ○○ ○○

# 出願資格確認書

## Application Qualification Confirmation

Yes or  No

理工学研究科・有機材料システム研究科・医学系研究科先進的医科学専攻の令和 5 年度博士後期課程入学者又は医学系研究科医学専攻の令和 4 年度入学者のうち 2 年次に在籍する者で、社会人入学者ではありません。

I am enrolled in the first grade of the doctoral course at the Graduate School of Science and Engineering, the Graduate School of Organic Materials Systems, or the Major of Environmental Life Science of Graduate School of Medical Science in FY2023; or in the third grade of the doctoral program of the Major of Medicine of the Graduate School of Medical Science as an enrollee in FY2022. I am not enrolled as a working adult student.

Yes or  No

令和 5 年 4 月 1 日現在、30 歳未満です。

As of April 1, 2023, I am under 30 years old.

Yes or  No

日本学術振興会の特別研究員、日本政府の国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生、又は本国からの奨学金等の支援を受ける留学生ではありません。

I am not a research fellow of the Japan Society for the Promotion of Science, a scholar of Japanese Government (MEXT) Scholarship, or an international student receiving financial support such as a scholarship from my home country.

上記内容に相違ありません。

I hereby declare that the above statements are true and correct.

Applicant Signature

Date (month date, year)

科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業  
「ソフトマターイノベーション博士人材育成プログラム」入プログラム確認書

◆プログラム概要

材料及び関連分野において社会を革新する高度博士人材の育成を目指す教育プログラム

◆プログラム募集対象者

有機材料システム研究科、理工学研究科（理学系、工学系）、医学系研究科で材料科学とその基礎や応用に関する研究を行う博士後期課程の学生

◆三つの支援

- ・研究に専念するための研究専念支援金（年額180万円）、研究費（70万円）を支給
- ・イノベーション創出人材として活躍する上で必要な3つの能力（『専門力』、『融合力』、『共創力』）の獲得を支援
- ・プログラム修了後のキャリアパスの支援

◆獲得を目指す三つの能力

専門力 融合力 共創力

◆資金源

- ・文部科学省からの支援：3分の2、自主財源：3分の1で運営
- ・学生研究費70万円のうち、その3分の1（233,334円）を指導教員が持つ研究費から支出

---

上記プログラム概要を理解し、「私の研究室に所属する\_\_\_\_\_が  
入プログラムすること」及び「学生研究費70万円のうち、その3分の1を私の研究費から支  
出すること」について異存ありません。

令和      年      月      日

指導教員 \_\_\_\_\_ 印